

# 「各県の有名なもの」

戸手小学校 3年 相場 奏志

各県の有名な物について 1位から6位まで

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
福岡県の有名な物	博多ラーメン	明太子	もつな	屋台	福岡ソフトホークス	博多通
広島県の有名な物	お好み焼き	原はぐみ	広島蒸餾酒	宮島	お好み焼き	広島県
兵庫県の有名な物	灘	姫路城	淡路島	阪神甲子園球場	六甲山	神戸の夜
和歌山県の有名な物	抹茶	きんご	もろ	マカヒ	後楽園	神戸大橋
滋賀県の有名な物	海	おきわ	ノース	シーター	ゴヤ	ちんす
石川県の有名な物	みかん	アベノキ	梅干し	日産の海	高野山	クニラ
都道府県の有名な物	東京スカイツリー	東京駅	雷門	人混み	東京市	新幹線

福岡に行って、有名な物を調べました。がんばったことは、有名な物に合う色をえらんだり調べたりしたことです。

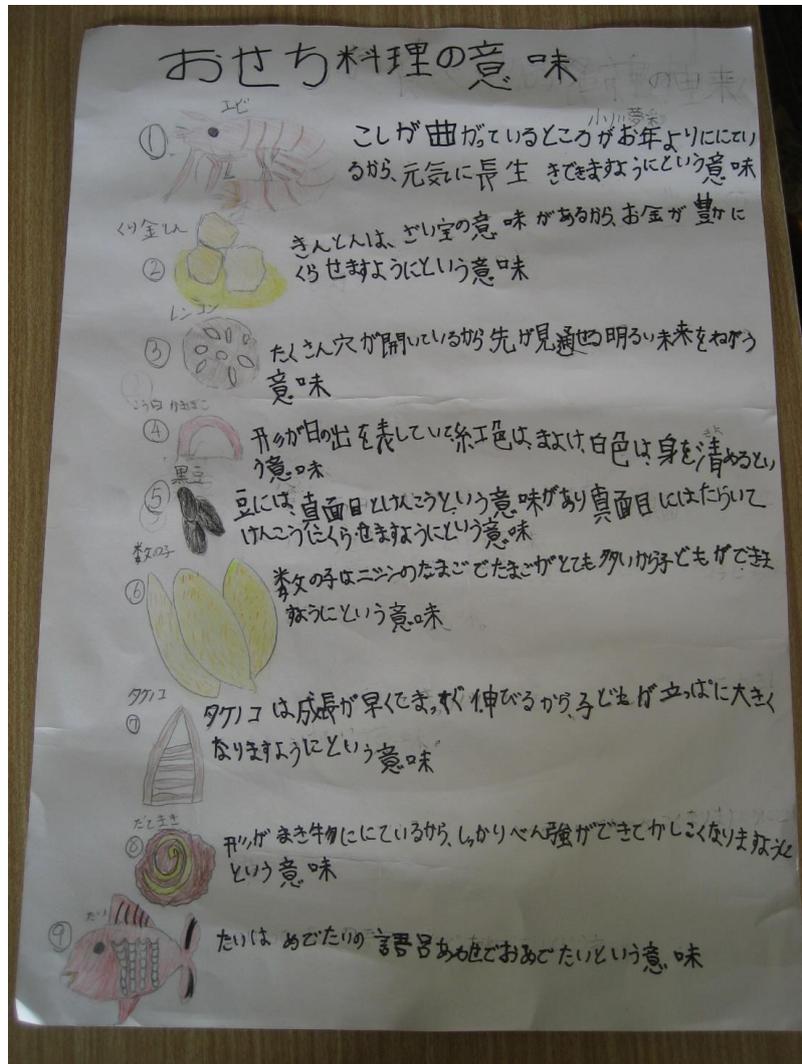
「空をとぶかもめ・か面ライダー対ショッカー」  
戸手小学校 3年 福島 敬純



ボトルにかもめをきれいに入れることと、ライダーのせなかにじしゃくと糸をつけることをがんばり、ライダーからささえのダンボールが丸見えにならないように細工した。

# 「調べてみたよ！おせちの由来」

戸手小学校 3年 小川 夢彩



おせち料理についてお家の人に聞いたり、自分で調べたりしました。

おいしく見えるように絵を工夫してかきました。

# 「福山市の駅を調べたよ」

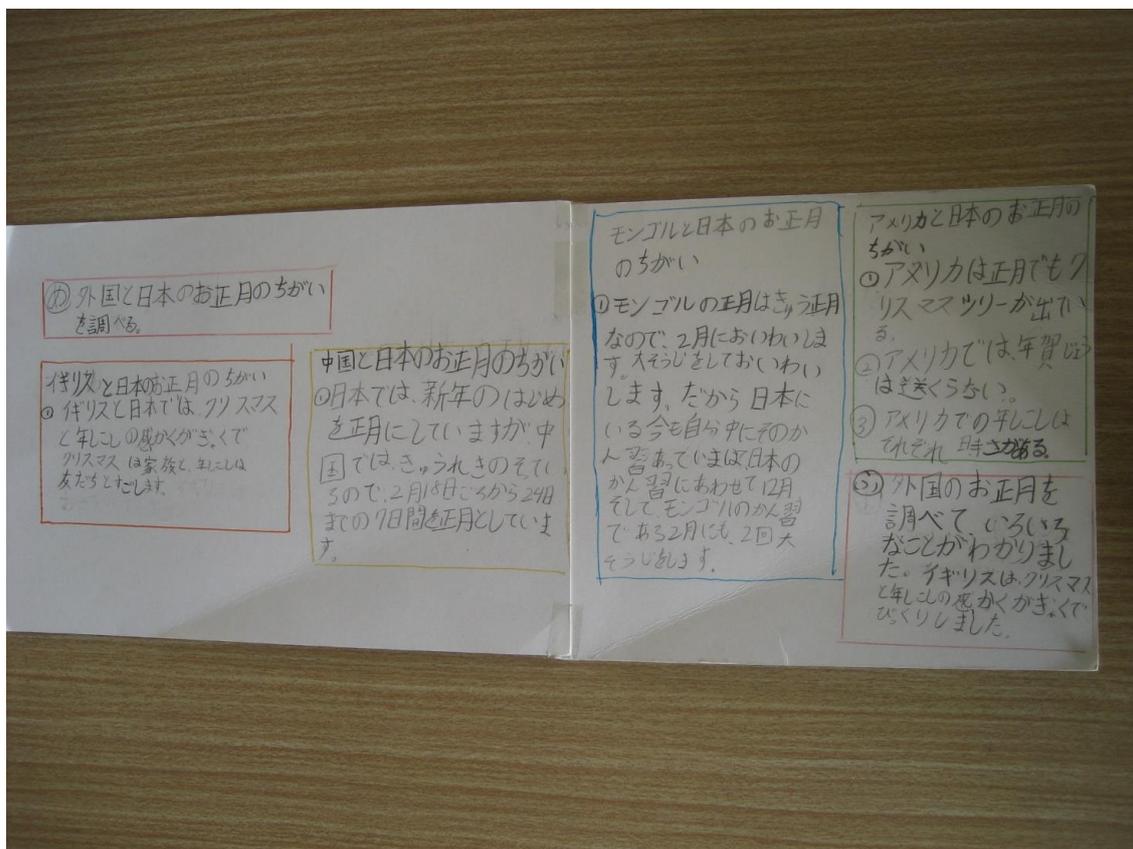
戸手小学校 3年 佐々木 杏咲



駅のまわりの道が細く、分かりづらい所にあって探すのが大変でした。

# 「外国と日本のお正月のちがい」

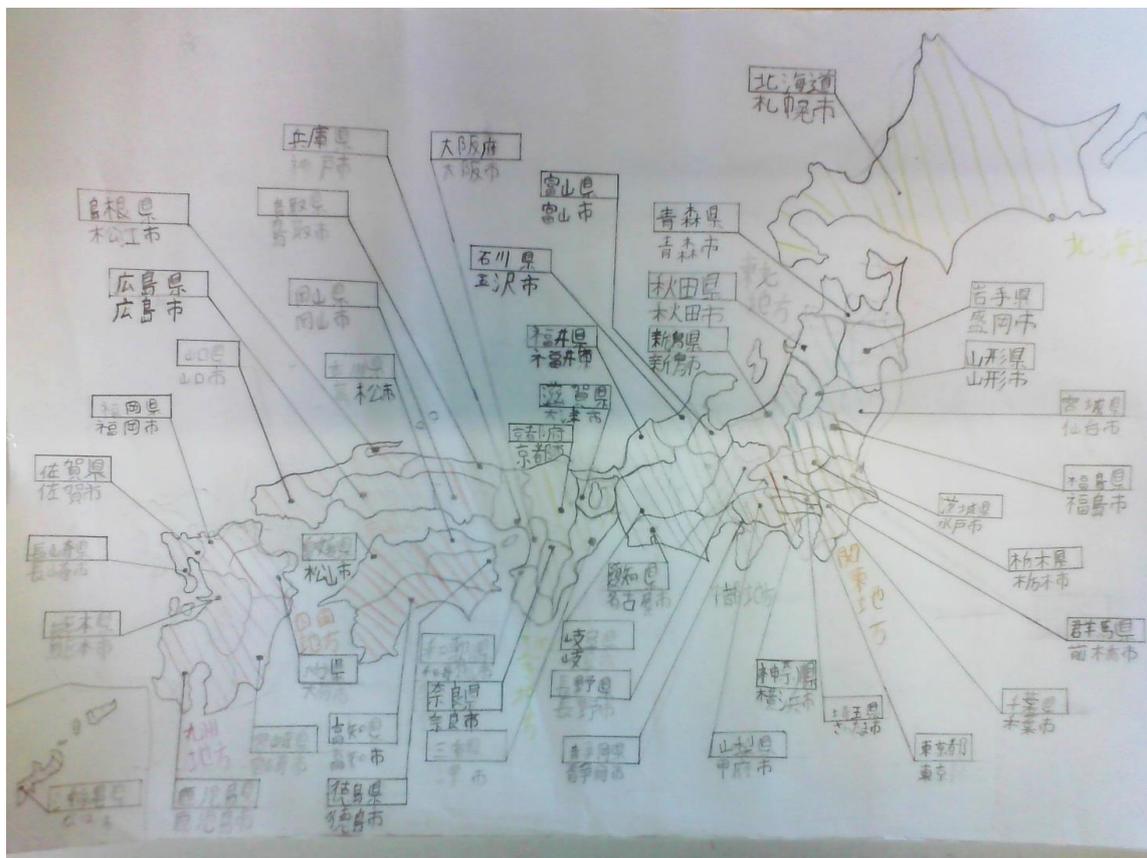
戸手小学校 3年 信岡 夏生



がんばったことはパソコンで外国のことをいっぱい調べたことです。

# 「日本地図」

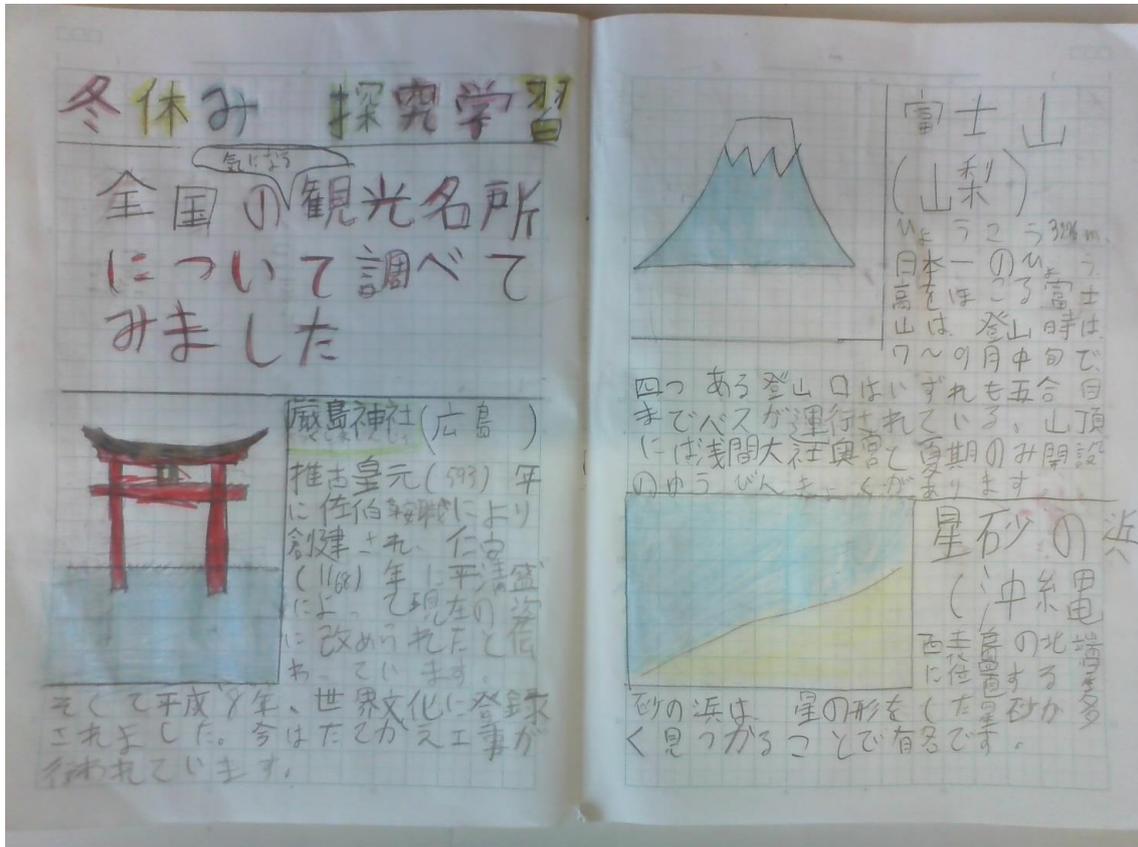
戸手小学校 3年 林 謙佑



県名を漢字で書くのが難しかったです。

# 「全国の気になる観光名所」

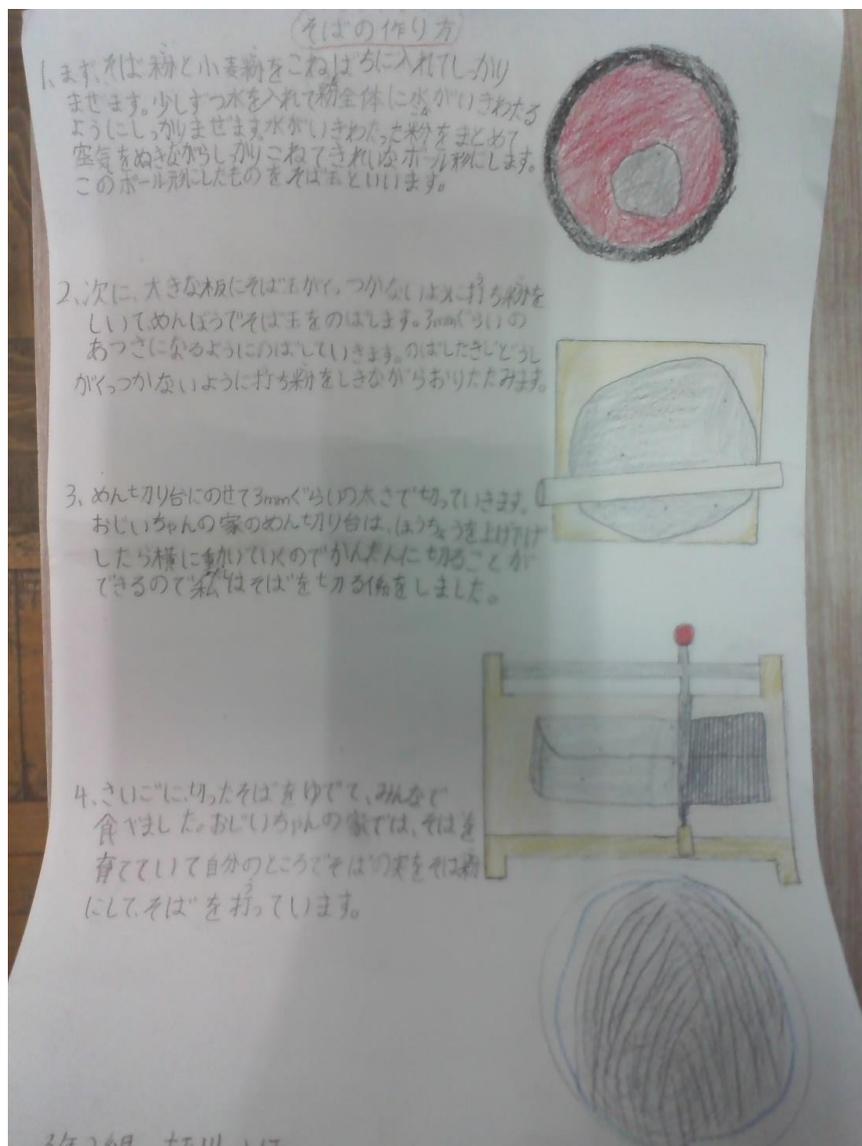
戸手小学校 3年 光成 有由睦



分かりやすくするために絵を描いたり色をぬったりすることを工夫しました。

# 「そばの作り方」

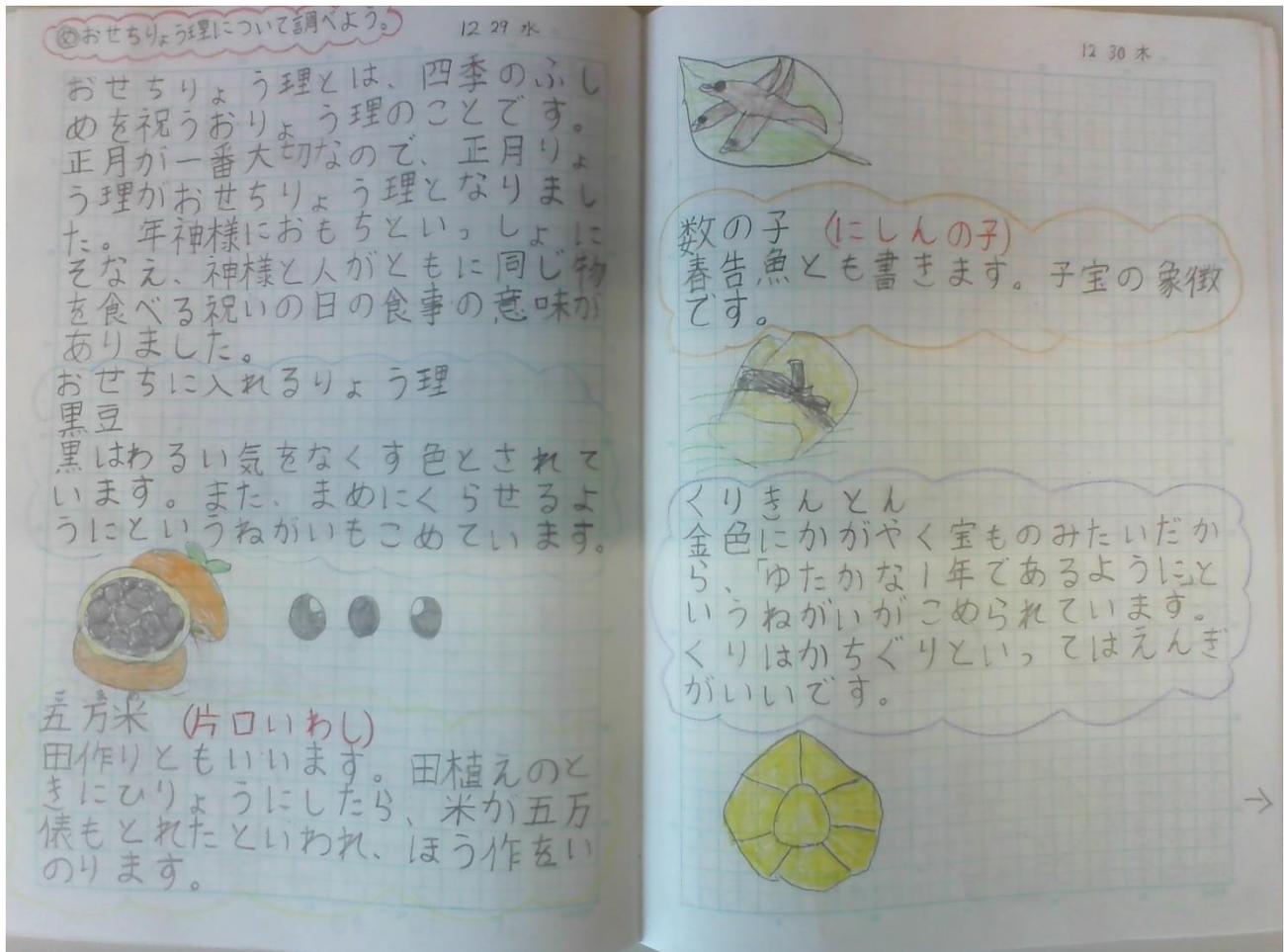
戸手小学校 3年 坪川 詩歩



そばを切るのは難しかったけど楽しかったです。おじいちゃんとおばあちゃんに、もっと色々なことを教わりたいです。

# 「おせち料理の種類と意味」

戸手小学校 3年 榎田 梨乃



お正月にどうしておせち料理を食べるのかを知りたくて調べました。

# 「丸いダルマ」

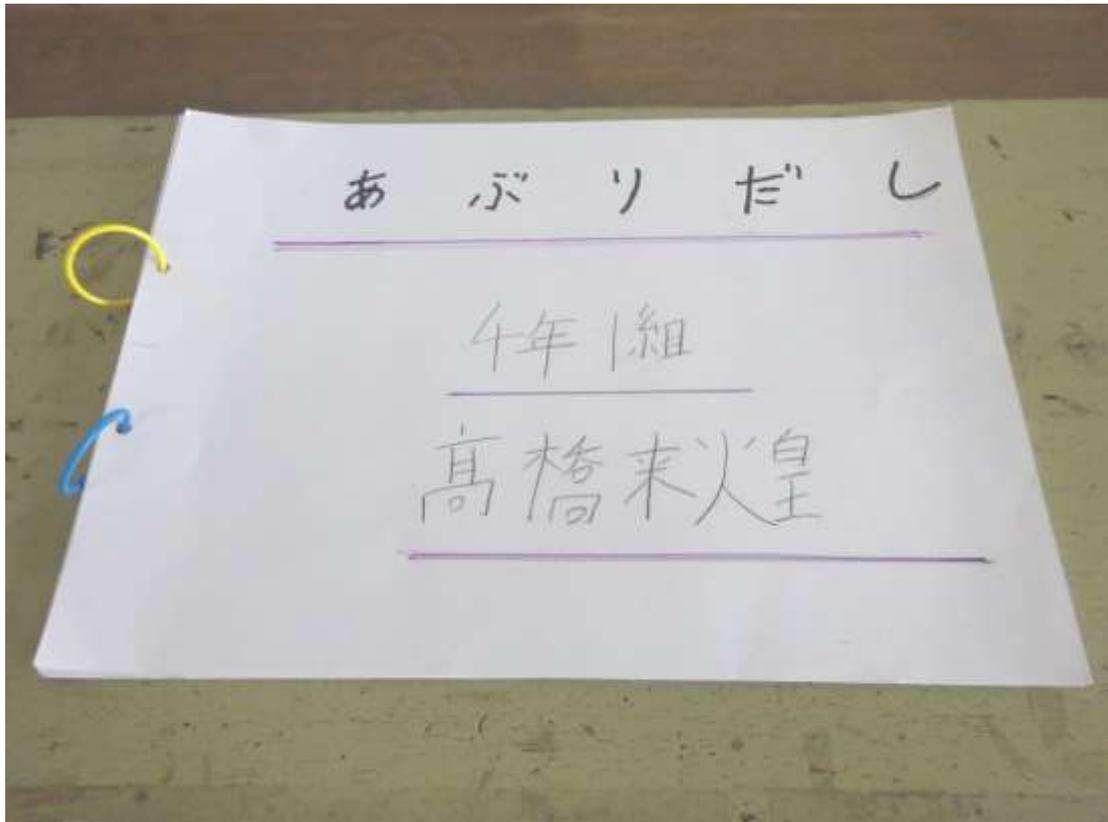
戸手小学校 4年 片山 凛一



ダルマの丸をつくるのがむずかしかったのでボールの周りに紙粘土をはって丸くしたところを工夫しました。

「あぶりだし」

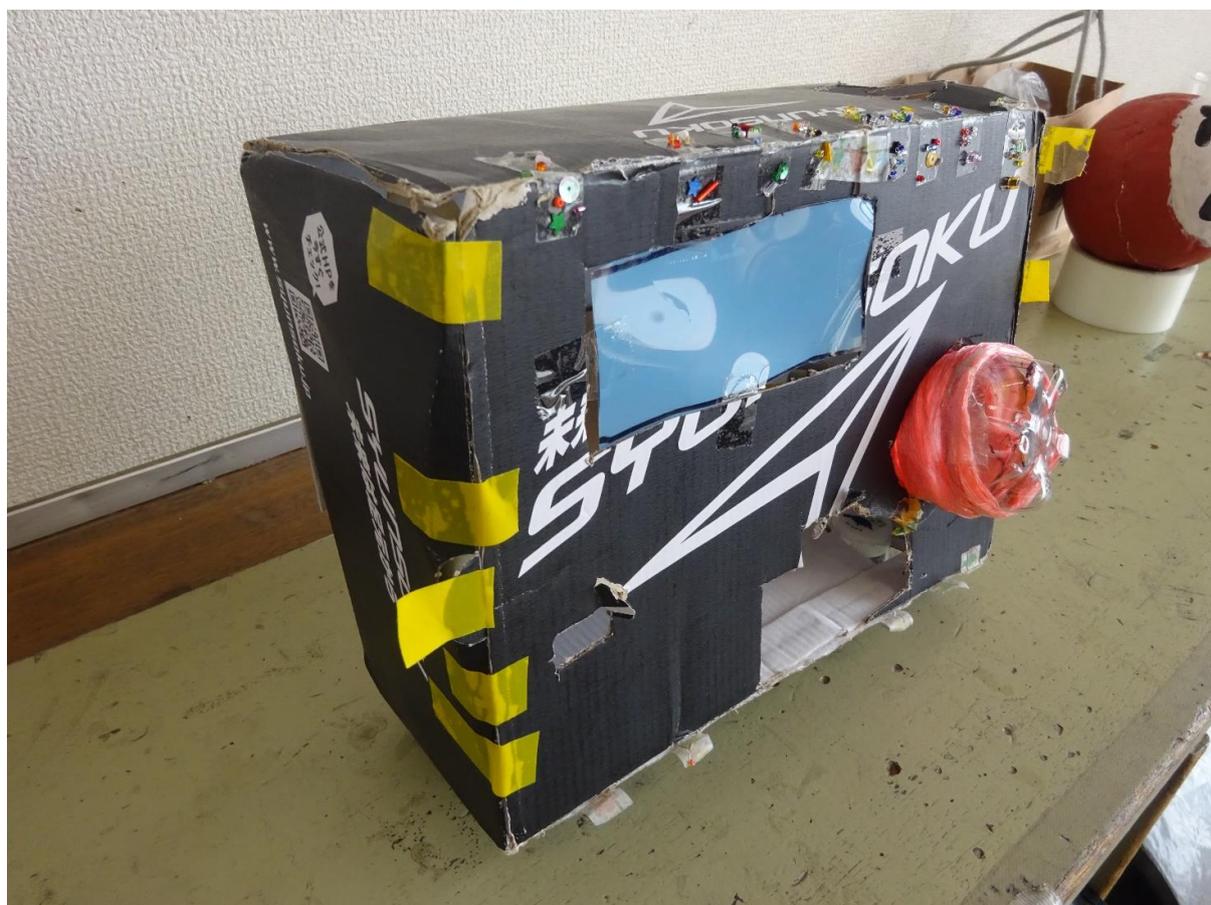
戸手小 4年 高橋 来煌



工夫したことは、みかんのしるやおすを使って紙に書いたことです。

「初めて作ったガチャガチャ」

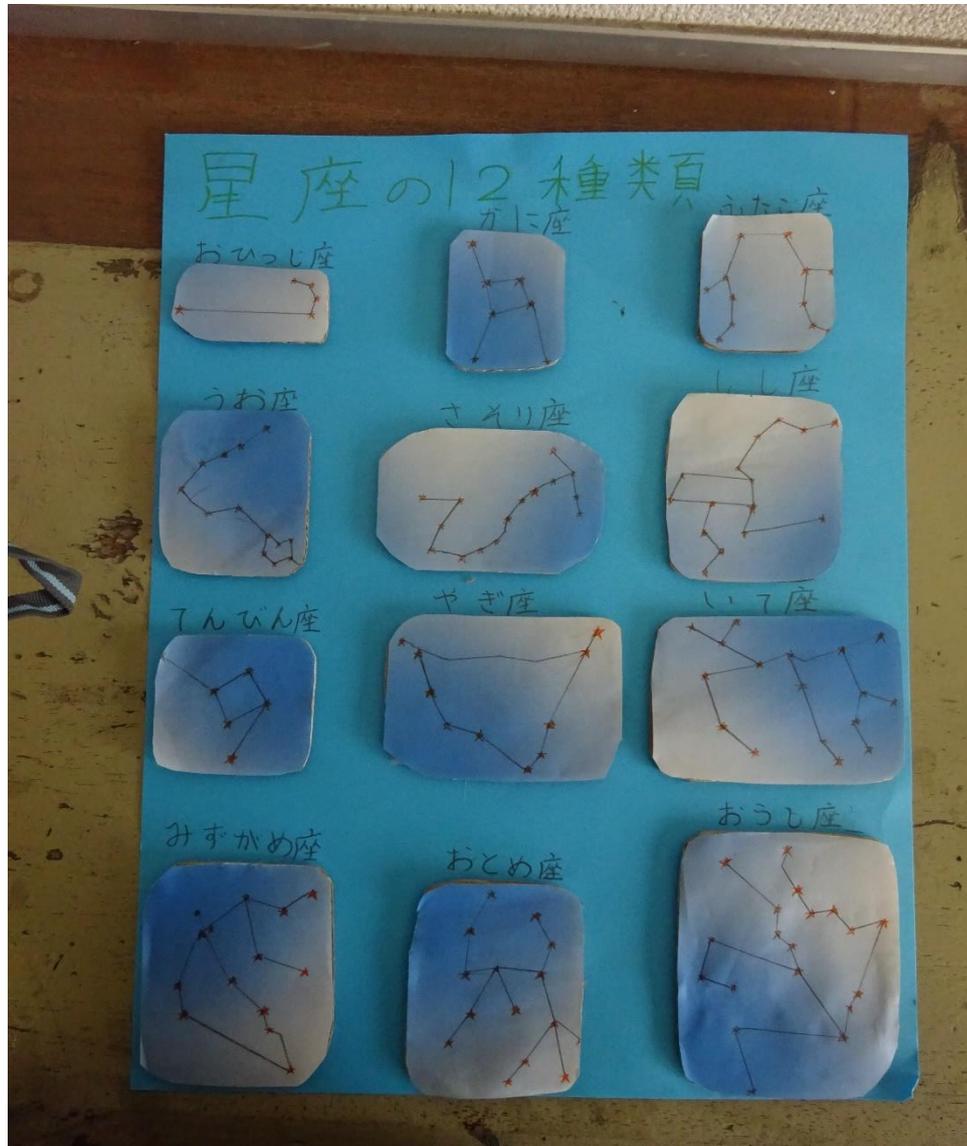
戸手小学校 4年 信岡 朝陽



回すところの穴の部分が大きすぎたり小さすぎたりしないよう調節したことを工夫しました。

# 「12個の星座」

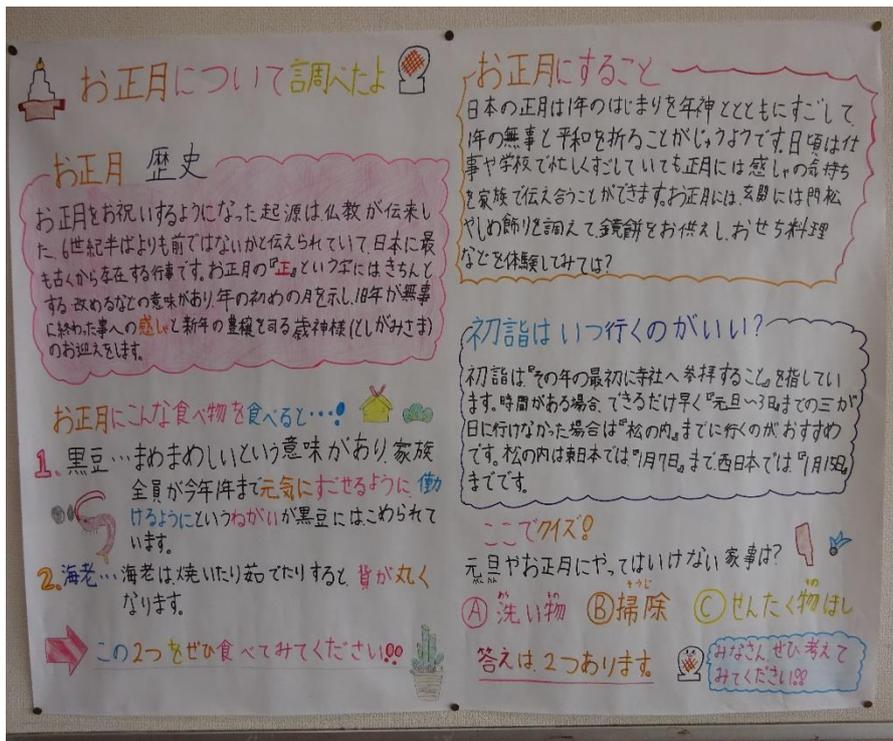
戸手小学校 4年 有元 彩夏



段ボールを土台にして紙にはったことを工夫しました。

# 「お正月について調べたよ！」

戸手小学校 4年 川端 絆夏



紙が大きいので字を大きく書いたり、周りにお正月の絵を描いたりしたことを工夫しました。

# 「家のもので作った楽器♪」

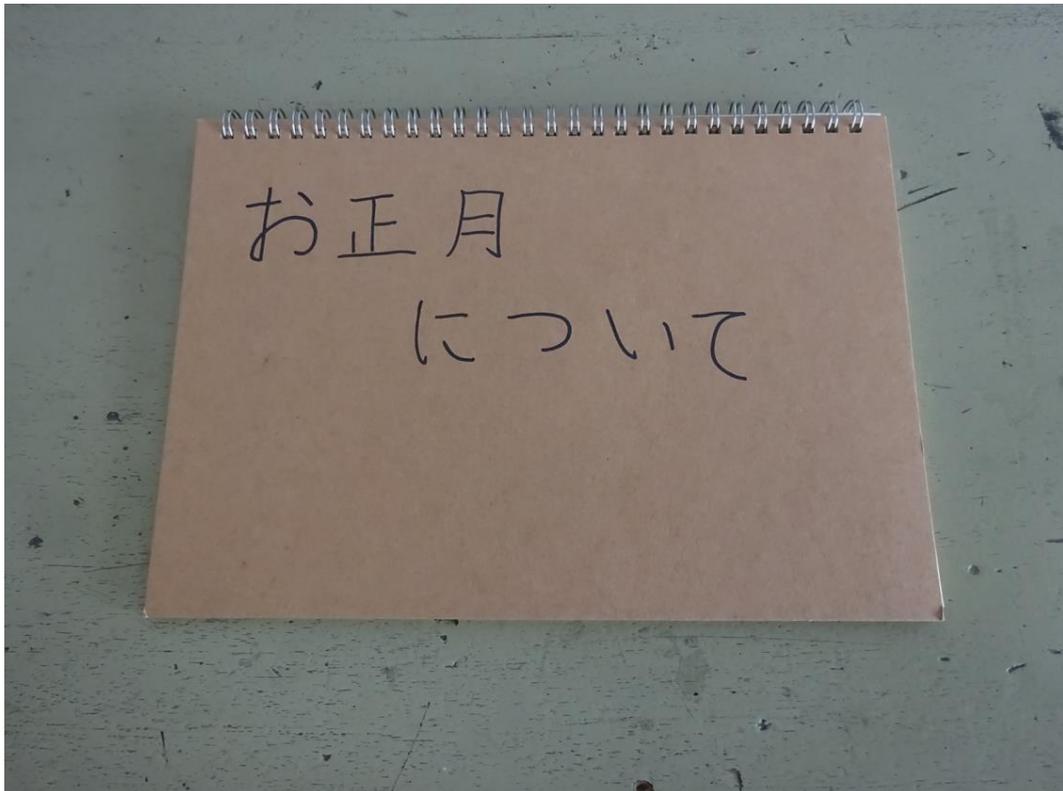
戸手小学校 4年 橘 美羽



サンダードラムのばねのはりがねをぼうにまいて作ったことをがんばりました。

「お正月について調べたよ！」

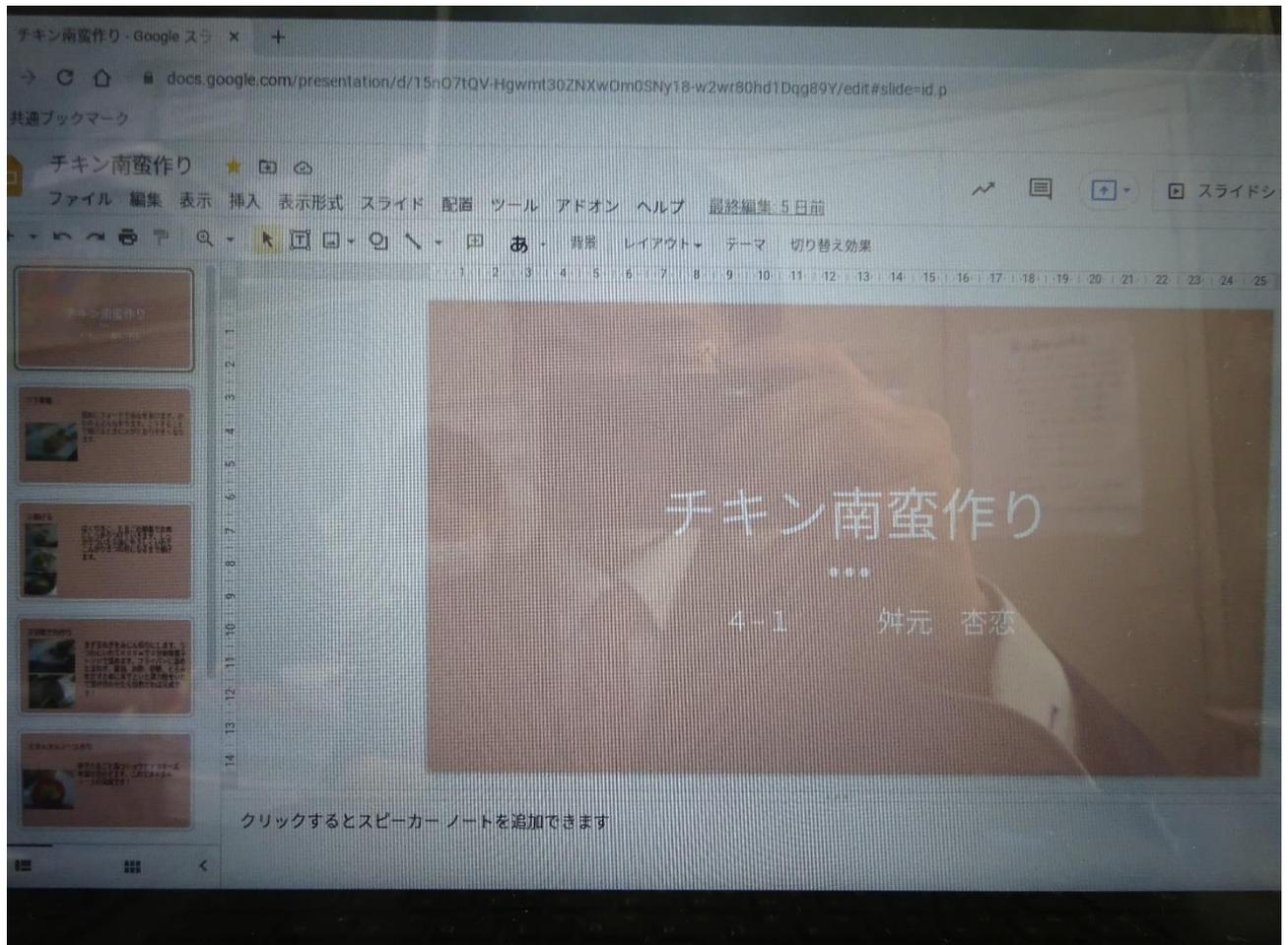
戸手小学校 4年 法代地 未来



自分でキャラクターをつかって明るく見せたところをがんばりました。

# 「チキン南蛮作り」

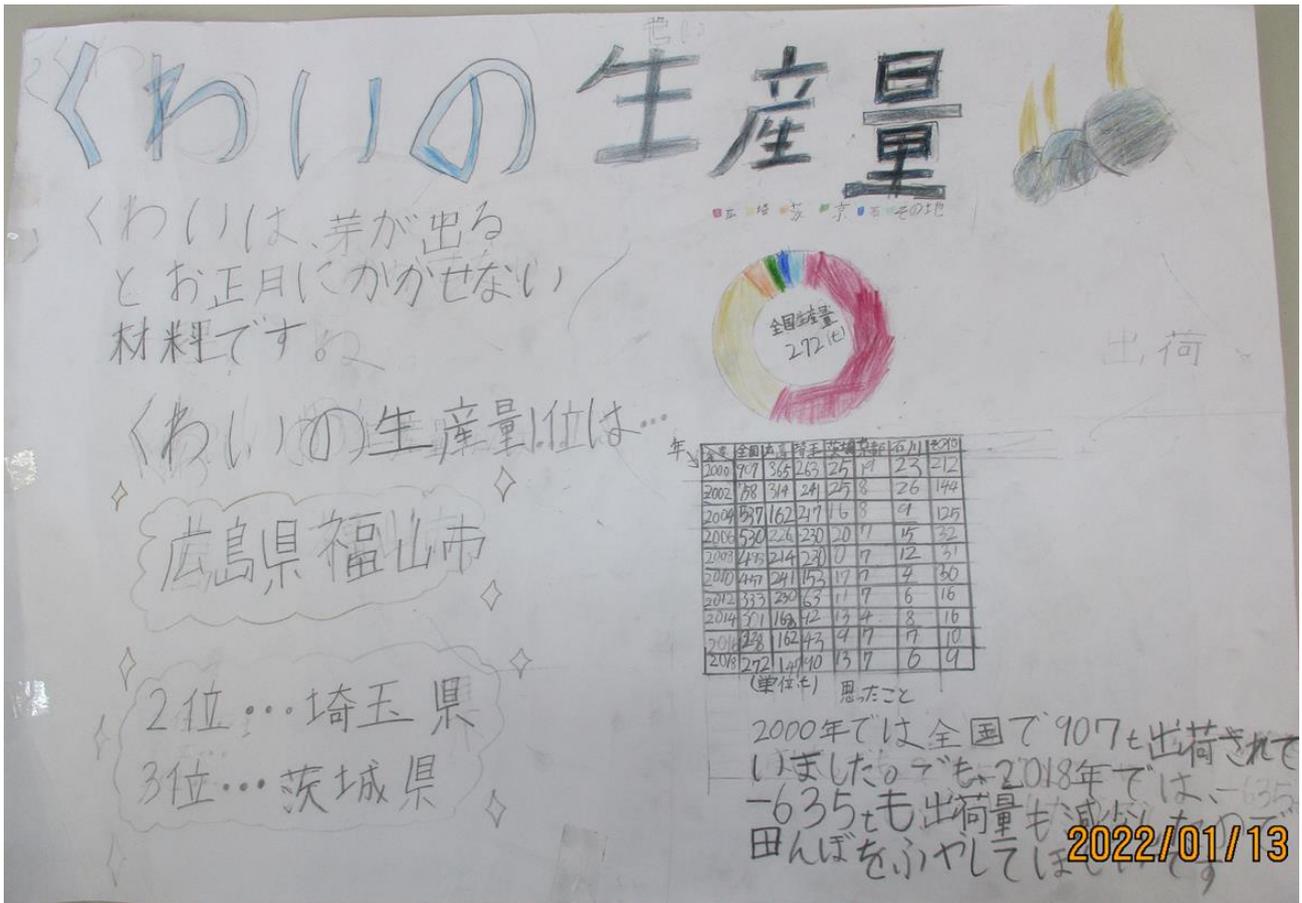
戸手小学校 4年 舩元 杏恋



鶏肉にかたくり粉をつけるのをがんばりました。

「くわいは何t生産されて  
いるのだろうか」

戸手小学校 4年 瀬尾 泉吹



図をわかりやすく描いて、色もつけながら作成しました。

# 「ボーリング」

戸手小学校 4年 馬屋原 あゆ



4年 馬屋原 あゆ

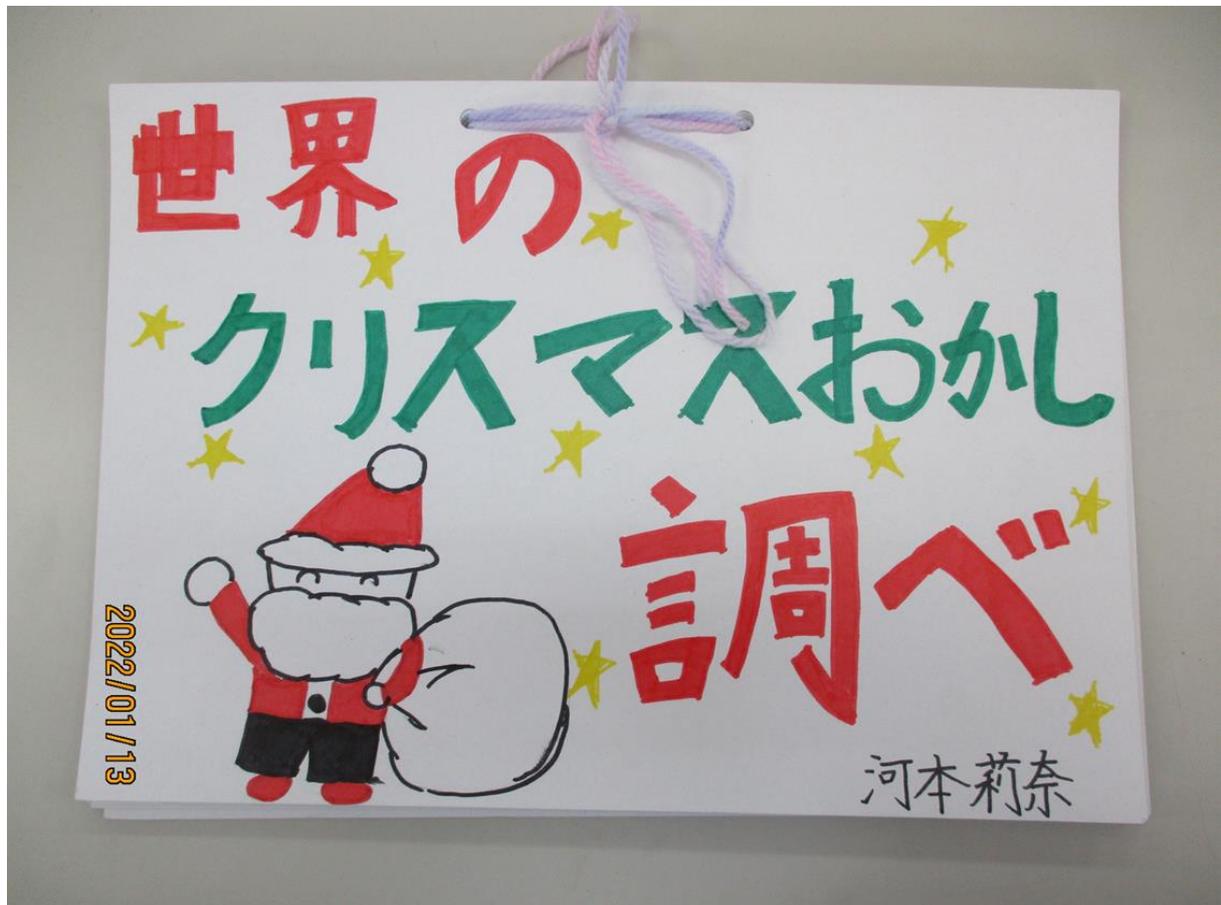
作品名  
「ボーリング」

本人コメント  
テープでボーリングのピンに顔のパーツを作るのが難しかったです。

テープでボーリングのピンに顔のパーツを作るのが難しかったです。

「世界のクリスマスおかし調べ」

戸手小学校 4年 河本 莉奈



世界ではクリスマスにどんなおかしを食べるのか気になったので調べてまとめました。見えやすいように字を大きく書いたり，分かりやすいように絵を描くなどの工夫をしました。



# 「段ボールバスケット」

戸手小学校 4年 佐藤 李  
信岡 奏妃



くっつける時にがんばってもなかなかくっつかなかったなので、時間がかかりました。

# 「イタリアの鐘楼」

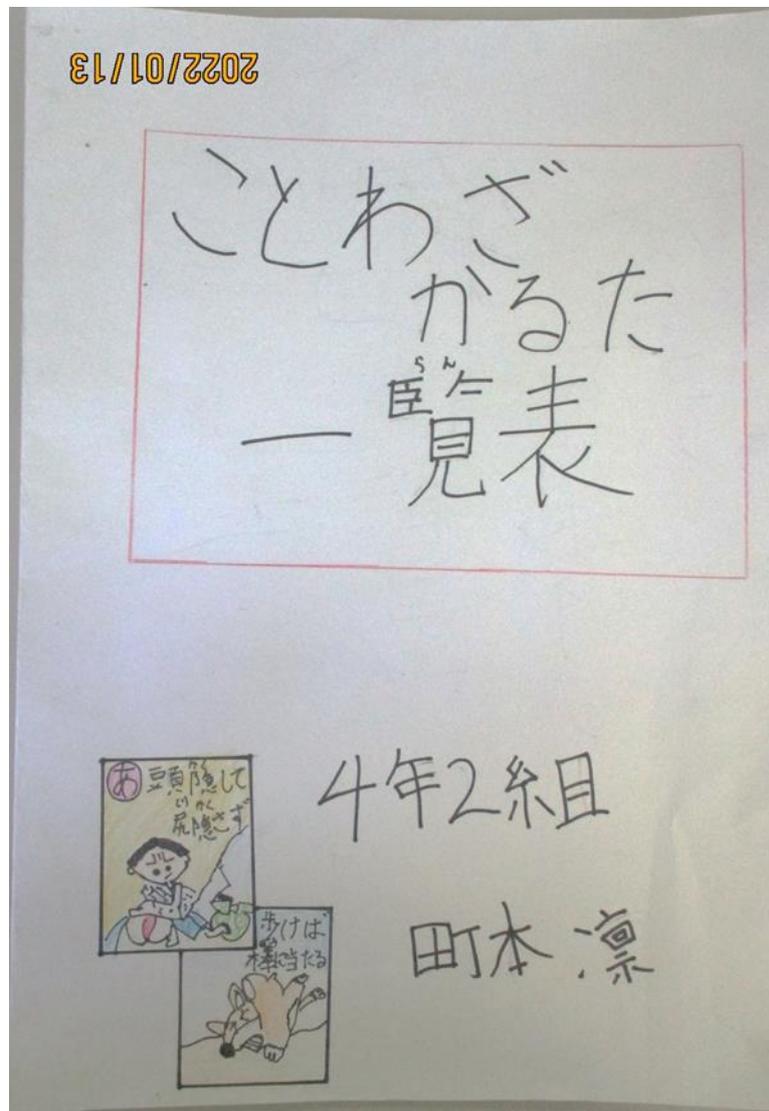
戸手小学校 4年 藤田 遥



穴のようなところに出っ張っている部分を入れるのが難しかったけど、がんばって作りました。

# 「ことわざカルタ」

戸手小学校 4年 町本 凜



絵とよみがなを書くことを工夫したり、昔の絵により似たように描いたりしました。他にも表紙に見本をかいたことも工夫しました。

# 「お年玉のなぞ」

戸手小学校 4年 宗光 蘭叶

お正月にはせー子どもにお年玉をあける？

まずお年玉の由来は？

「お年玉」という名前は海外で始まった言葉なのです。それ以前、昔からお正月にもらえるものは、お金ではなかった人対し「お年玉」といって「おもち、たまたたです。おもちをあける理由は、おもちといふふつのおもちではなく「たましい」という名の「おもち」を年神様からいただくことで、1年分の力を分け下すと考えられていたのです。しかし、でも「お年玉」という言葉が「おもち」から来ているんです。

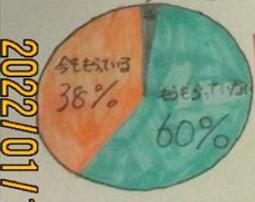
でもなんでおもちをあけるからお年玉をあけることになったの？

江戸時代には庶民にも浸透していたといわれておりました。おもちだけではなく品物やお金をあけることもあり、こうした年始のおもちやお金を「お年玉」と呼ぶようになった。またお年玉は、家長から家族、主人から使用人へ、しよからでして、といった、目上から目下へあけるものなのでそれ以外の場合は「お年貨」「お年始」などを使います。

なぜ子どもにお年玉をあけるの？

正月に家にやきた神様はおそなえをしてくれたお返しとして、その家の人たちに「新しい鬼」を与えます。神様からもらった楽しい鬼。この新しい鬼のおかげで、人々はまた1年間健康に生きていくことができると考えていたのです。このようなことを昔の人は本当に信じていました。そして「お年玉」は、とても長いわけしをもっているんです。

大人はお年玉もらえないの？



Category	Percentage
お年玉をもらえない	38%
お年玉をもらう	60%

たーいたい、もらえない人が7割くらいいる人も、めずらしいわけではあません。お年玉はおもちのかわり、おそなえは新しい鬼のかわり、新しい鬼を上目の人からもらうという仕組みから下目の人にはあけてもらえない。自分自身、新しい鬼を自分で返してほしい。お年玉を

「タブレットを活用して、グラフでも表す！」ということを工夫し、色を分けて分かりやすくしたところが、がんばりポイントです。

# 「ひつじのぬいぐるみ」

戸手小学校 4年 守谷 惟



口を作るのになみぬいではなく、バックステッチというぬい方でぬいました。

# 「夕暮れの海」

戸手小学校 4年 森本 結衣



ちがう色のグラデーションでぬることを  
工夫しました。